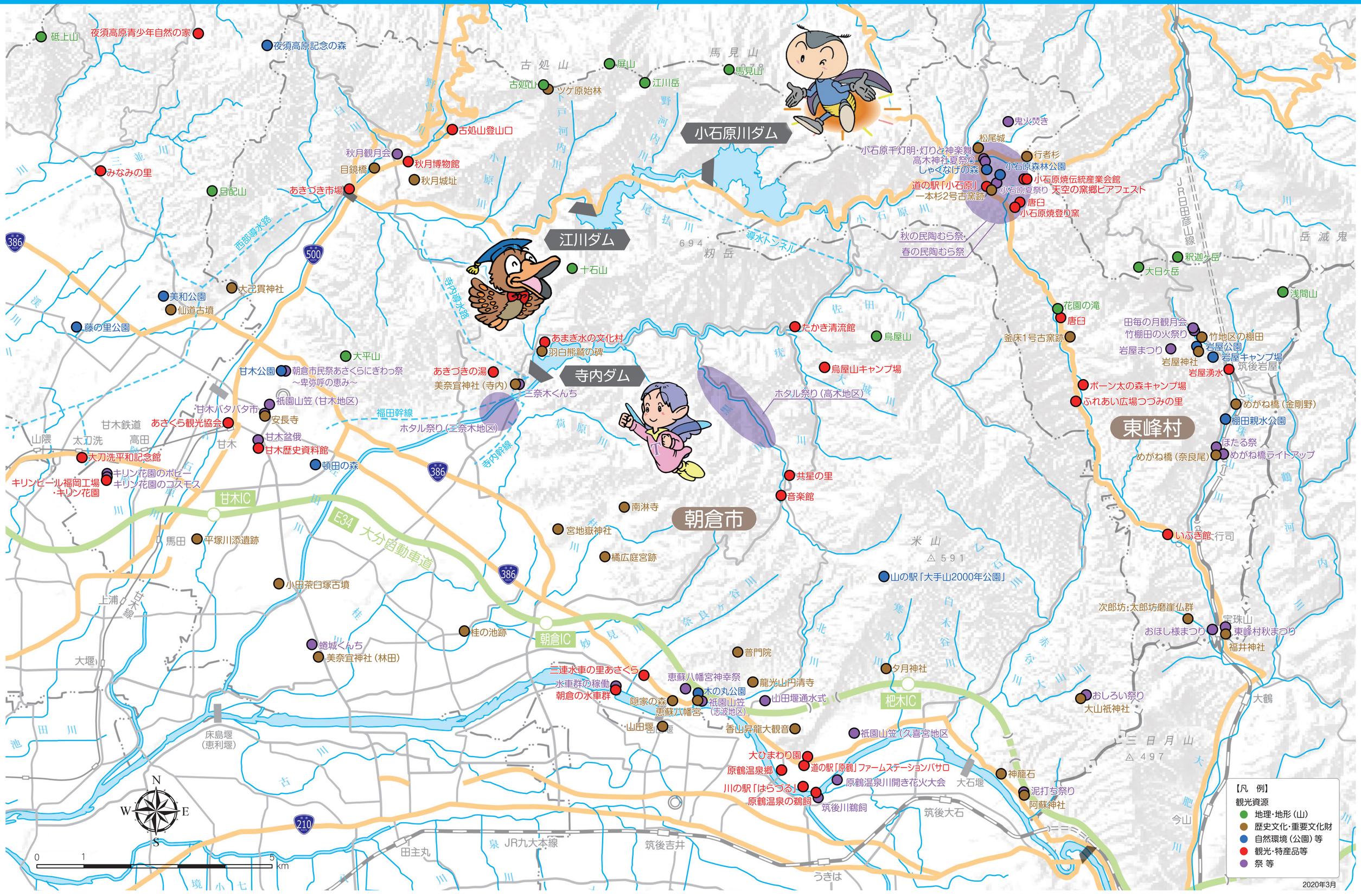
小石原川ダム・江川ダム・寺内ダム周辺マップ



小石原川ダム・江川ダム・寺内ダム周辺の主な観光資源

地理地形（山）｜自然環境（公園）等｜歴史文化・重要文化財｜観光・特産品等｜祭　等

山の駅「大手山 2000 年公園」
杷木農業公園。「農」を主題としたテーマパーク。もぎとり柿園、体験農園、全国でも珍しい柿オーナー農園などがある。山の駅からの眺めは絶景で、耳納連山と筑後川、筑紫平野を眼下に雄大なパノラマとして広がる。

山田堰
筑後川の水を導水するために設けられた総石張堰(傾斜堰床式石張堰)で日本唯一の方式。

甘木盆踊
元禄 12 年(1699)、原喜左エ門が子どもに踊りを教えて祇園社の開山式に奉納し町々を巡演した風流がやがて歌舞伎として演じられてきたのが始まり。市指定無形文化財。

小田茶臼塚古墳
周溝まで含めた全長が 63mの小型の前方後円墳で、古墳時代中期の築造と考えられる。古墳から出土した甲冑等は、甘木歴史資料館にて展示している。

平塚川添遺跡（遺跡公園）
古代の珍しい多重環濠集落跡。弥生の森を再現した公園として整備され、ゆったりと過ごすことができる。国指定史跡。

泥打祭り/阿蘇神社
大盃の酒を飲んだ代官司に子供達が泥を投げつけ、そのつき具合で豊作を占う奇祭。県指定無形文化財。

音楽館
館長の渕上宗重氏が収集した、歴史を語る貴重な音と映像機器の数々、昭和の生活用品等、展示数は 2,000 点、総収蔵数 10,000 点の私設アンティーク資料館。

秋月博物館
秋月郷土館の資料を受け継ぎ、朝倉市の歴史を伝える博物館として平成 29 年 10 月に開館した。秋月黒田家ゆかりの品々や土器コレクションを展示している。

隠家の森
クスの巨木で、胸高周囲 18m、樹齢は 1,500 年以上ともいわれている。朝倉の関所を通れぬ人が、夜になるのを隠れて待っていたとの伝説から、この名が付いたとされている。

キリンビール福岡工場・キリン花園
春はホピー、秋には約 1,000 本のコスモスが咲き乱れる随一の花の名所。(キリンビアパーク内工場見学も可能。)

観光プラザほとめく館（あさくら観光協会）
甘木鉄道甘木駅に併設する観光案内所。朝倉市の観光案内はもちろん、近隣地域（筑前町・東峰村）の見どころなどを紹介する。パンフレットも送付している。レンタサイクルも行っている。案内所では、あさくら地域のお土産品も購入できる。

古処山/屏山/江川岳/馬見山
古処三山に加え、国道 322 号八丁峠道路トンネル開通に向けて、嘉麻市と協力し、地域連携活性化行うため、地図上に名前が記載されていない山の名称を公募し、江川岳が命名された。(平成 30 年)古処山地は、日本山岳遺産に認定されており、古処山のツゲ原始林、屏山の大将隠し、馬見山の御神所岩等が見どころである。

古処山登山口/ツゲ原始林
登山口から山頂まで約 2 時間 30 分。古処山(標高 859.5m)ではオオヒメツゲが大半を占めている他、アサマツゲ・マルバツゲの三種類が自生している。原始林全体に占めるツゲの割合が 8～10 割と高く、全国的に見ても最高のツゲ林といわれている。国指定特別天然記念物。

甘木歴史資料館
白壁を巡らせた趣ある外観が印象的な学びのスポット。県立九州歴史資料館の分館として、主に甘木・朝倉地方の歴史・民俗にまつわる資料を展示している。

山田堰通水式/水車群の稼働
朝倉の揚水車群は、6 月 17 日に水神社で「山田堰通水式」が行われ、稼働を開始する。当日は神事が行われ、その後、水神社境内地下にある水門が開門し、15 分ほどかけて約 2km 離れた水車群に水が到達し、水車が稼働する。

ホタル祭り(高木地区・三奈木地区)
高木地区は、杉林でホタルの光を放つ姿が「まるでクリスマスツリーの様だ！」と表現されるほどのホタルの大発生地域である。

野鳥橋からみたホタル

(杷木)神籠石
山の尾根と谷をいくつか取り込んで大きく外周に土塁をめぐらした古代の山城の一種。福岡県を中心に佐賀、山口、岡山、愛媛、香川の各県に分布している。杷木神籠石は全長 2.3km で、切石を並べて土塁の崩壊を防ぎ、谷部では 2 ヶ所で水門が発見されている。国指定史跡。

三連水車の里あさくら
特産品として名高い博多万能ねぎをはじめ、朝倉産野菜・果物・地元の特産品・惣菜などを多く取り揃えている物産館。

美奈宜神社(林田)/蟾城くんち
延喜式に記載される式内社で、神功皇后攝政 2 年(202)の創立。皇后新羅討征の帰路に放った白鷺が舞い降りたこの地に三神を祀る。蟾城くんちは毎年 10 月 21 日の美奈宜神社(林田)の神幸祭。秋月種時(秋月氏 14 代)が永正 6 年(1509 年)に社殿を再興した時から続く、無病息災、五穀豊穣祈願のお祭り。

あまぎ水の文化村
水と親しむ文化施設。園内には遊具施設もあり、親子で楽しむことができる。

道の駅「原鶴」ファームステーションパサロ
その日の朝採れた新鮮な野菜やくだもの、手作りで人気の加工品が並ぶ“生産者の顔”が見える直売所。

医王山　南淋寺
南淋寺は真言宗大覚寺派に属し、伝教大師作「薬師如来坐像」(国指定文化財)を本堂とする古寺。宝篋印塔、雲板など数多くの文化財が伝えられている。

朝倉市民祭（農商工フェスティバルあさくら祭り）
令和元年度から、これまでの祭りの枠を取り払い、名称を変更し、開催時期も 11 月に変更した。朝倉市の観光大使「女王卑弥呼」の誕生式も引き続き行っている。

朝倉の水車群（三連水車）
約 200 年以上もの間、田に水を供給してきた三連水車。今も変わらず、6 月中旬から 10 月中旬まで、筑後川からの水を送り続けている。

甘木公園
池の周囲には約 4000 本の桜があり、県内屈指の桜の名所である。

たかき清流館
廃校になった旧佐田小学校の木造校舎を利用した体験・宿泊施設。すぐ目の前には美しい清流が流れ、自然のプールで水遊びを楽しむこともできる。

あきづき市場
秋月3地区(上秋月・秋月・安川地区)の中心地に平成 31 年 3 月オープンした。秋月の魅力発信、地産地消、交流拠点づくりを目指している。

恵蘇八幡宮/神幸祭
縁起によると、中大兄皇子は国の発展と戦争の勝利を祈願するため、宇佐神宮の祭神である応神天皇を祀った。この時、八幡大神の旗が舞い降りたので「朝倉山天降八幡」と名付けられた。その後、勅命により恵蘇八幡宮となった。神幸祭は農作物の豊作を祝う秋祭りであり、。神幸行列は神輿の他に二組の獅子舞と毛槍が加わる。

羽白熊鷲の碑（墓）
古代郷土に一世を風靡した人物として羽白熊鷲を顕彰し、あまぎ水の文化村内に平成 14 年に建立された。記述によると羽白熊鷲は、古代の筑紫の国に名をはせた部族の長で、翼があり高く飛ぶことができる強健な人物といわれている。

甘木バタバタ市/安長寺
甘木安長寺に疱瘡(天然痘)除けと子育て祈願の祭りとして、また物々交換の市として 1000 年以上前より現在に伝えられ、バタバタ市の 2 日間で「豆太鼓バタバタ」が境内で販売される。

普門院
天平 19 年(747)聖武天皇の勅願をうけ、行基が筑後河畔に創建したものが、度重なる水害のために現在地に移築されたものと伝えられている。国指定重要文化財。

橋広庭宮跡
斉明天皇は百済救済のために、この朝倉に仮宮を築かれたといわれている。宮を構えられてわずか 2 ヶ月あまりで斉明天皇は朝倉で崩御された。『秋の田の　かりほの庵の苫をあらみ　わが衣手は露にぬれつつ』 天智天皇

筑後川鵜飼/原鶴温泉の鵜飼
筑後川の夏の風物詩。鮎漁の解禁に伴い 5 月 20 日～9 月末まで楽しむことができる。国内で唯一、魚を「捕る鵜飼」を実践しているのが特徴で、県内で見ることができるのはここだけである。

木の丸公園
斉明天皇が崩御され、後の天智天皇が喪に服された御陵を中心に整備された公園。筑後川や山田堰をバックに咲く桜の中に埴輪のレプリカがある面白い風景も見ることができる。

龍光山円清寺
筑前国黒田藩の家老であった栗山備後利安(栗山大膳の父)が慶長 9 年に没した黒田官兵衛(如水)公の菩提を弔うために建立したお寺で、寺号は官兵衛(如水)公の戒名に由来した。寺宝の肖像画は如水公かキリシタンであったことを示す貴重な資料である。

香山昇龍大観音
旧杷木町の北部に位置する高山にあり、全ての人々が金運・財運に恵まれ、豊かで幸せな人生を送れることを願われた開運・招福の観音様。全高 28m で昇龍観音としては日本一の大きさを誇る。

大ひまわり園
道の駅「原鶴」前の「大ひまわり園」。9 月中旬頃に 16 万本のひまわりが満開になる。

ひまわりフェア

目鏡橋
秋月の城下の入口に架けられている石橋。文化 7 年(1810 年)竣工で、秋月藩の家老宮崎織部が長崎から石工を招き、近郊の花崗岩を用いて築いた。

原鶴温泉郷/川開き花火大会
県内随一の湧出量を誇る温泉郷。筑後川に面し、対岸には耳納連山を望む風光明媚な温泉街である。泉質は美肌効果か高く美肌の湯と呼ばれている。

温泉郷の夕景と 5 月の川開きにあわせて開催される花火大会

美奈宜神社/三奈木くんち
10 月 22 日の美奈宜神社の秋の大祭(おくんち)。まつりに奉納される御神幸行列は朝倉市指定無形文化財である。美奈宜神社は神功皇后の熊襲平定を創始の由来とする神社。

秋月観月会
秋の気配の中情緒豊かな秋月城下町で、林流抱え大筒の披露、光月流太鼓の演奏、その他様々なステージイベントが催される。林流抱え大筒と光月流太鼓は市指定

桂の池跡
今からおよそ 1,300 年前の斉明天皇の時代、朝倉橋広庭宮にまつわる悲恋物語の伝承の地。桂川にかかる橋名を「宮殿橋」と言い、その横に桂の池跡ならびに綾の鼓につながる「恋の木」の碑が祀られている。

秋月城址
戦国時代には秋月氏古処山城の裏門、江戸時代には黒田氏が秋月入封の際、表門とした。その後、垂裕神社の神門として現在の場所に移築された。秋には黒門の周りのモミジが見事に紅葉する。

おしろい祭り/大山祇神社
新米の粉を水で溶いたものを顔いっぱいに塗りつけ、その付き具合で翌年の豊作を占う奇祭。

祇園山笠（甘木地区/志波地区/久喜宮地区）
（甘木地区）約 300 年の伝統を持つ須賀神社の祇園祭。疫病が流行した際、神輿を造り御神体を遷して町中を練りまわしたことが始まりと言われている。(7 月 13～15 日)

川の駅「はらづる」(パークゴルフ場)
筑後川河川敷にあるパークゴルフ場。子どもから大人まで気軽に楽しめることが出来る。

共星の里
廃校になった小学校を利用したアート空間。国内外の現代アートを鑑賞できるほか、石ころアートやTシャツ・王冠などのアート体験も豊富。

朝倉市

めがね橋/めがね橋ライトアップ
JR 日田彦山線の筑前岩屋駅～大行司駅に架かる 3 つのめがね橋は、昭和 18 年に完成した多連アーチ橋で、近代土木遺産にも選ばれている。12 月上旬～翌年 1 月上旬に幻想的にライトアップされる。

栗木野橋梁(通称:金剛野橋)

宝珠山橋梁(通称:奈良尾橋)

行者杉
樹齢 200 年から 600 年、約 4.68ha にわたる 375 本の杉の巨木群。かつて修験者たちが峰入修行の際に、奉納植栽したもの。修験者にとって杉は、大きく成長して樹齢が長く、魂が宿ると信じられている。

棚田親水公園
鯉のぼりの形をした河川プールは、高低差を利用してプールとプールは滑り台で繋がっている。深さの違う 3 つのプールは、幼児から大人まで楽しめる。

松尾城跡
慶長 5 年(1600)に、黒田長政が関ヶ原の戦いの功により、豊前中津から筑前に入国し、黒田六端城の一つとして築城された。元和元年(1615)幕府の一国一城令により取り壊されるまで、豊前小倉藩との国境を守る重要な出城であった。

岩屋湧水
釈迦岳トンネルの堀削の際に湧き出た。硬度約 30 度の軟水で、クセのない、まろやかな味が特徴。「平成の名水百選」として、福岡県で唯一、環境省からの認定を受けている。

つづみの里公園/ポーン太の森
キャンプ場。丸太で作られたブランコやすべり台などフィールドアスレチックがある。全 9 棟のコテージは、別荘気分が満喫できる。

岩屋神社/岩屋まつり
なんでも願いが叶うと伝えられる「宝珠石」を御神体とする「岩屋神社」(国の重要文化財)の春の大祭。村人が威勢よく駆け巡る「あばれ神輿」や厳かな「大護摩供養」など、見どころ満載の村まつり。(4 月第 2 土・日曜日)

竹地区の棚田
標高差 160m の急斜面、約 11ha の中に約 400 枚の棚田と 24 戸の集落があり、谷間のわずかな土地を農地として開拓した先人たちの知恵と努力の結晶である。古くは室町時代に形成されたといわれ、美しい日本の風景である。（日本棚田百選）

火祭り(6 月)

観月会(6 月)

小石原夏まつり
小石原地区の涼しい環境で行われる夏祭り。出店に加え、和太鼓などの様々なイベントも行われるアットホームなお祭り。

釜床1号古窯跡/一本杉2号古窯跡
（釜床1号古窯跡）
高取焼二代目高取八蔵父子が 17 世紀後半に造った小石原鼓高取焼窯。推定全長 15m・幅 2.2m前後の連房式登窯

（一本杉2号古窯跡）
寛文 9 年(1969)あるいは貞享年中に高取焼初代高取八蔵の孫にあたる高取八之丞が移り住んで開いた窯。胴木間と 6 焼成室からなる全長 20mほどの連房式登窯

高木神社夏祭り
木彫りの「うそ」を会場で交換しあい、去年の凶をうそ(嘘)にして今年の吉を呼び込む縁起の良い行事。(7 月土用丑の日の前の日曜日)

小石原森林公園/しゃくなげの森
約 14ha の自然公園で、森林浴やウォーキング、バードウォッチングなどを楽しむことが出来る。また、小石原では 4 月中旬から 5 月中旬にかけてシャクナゲやツツジが美しく咲き誇る。しゃくなげの森はおすすめの地区のひとつ。

民陶むら祭
小石原焼と高取焼の大陶器市。小石原地区を中心に点在する約 50 の窯元では、期間中通常価格の 2 割引きで販売され、祭りに合わせて窯出しされた陶器を求めて、全国から多くの陶器ファンが訪れる。(春:5 月 3～5 日、秋:10 月中旬)

いぶき館
筑豊の石炭王・伊藤伝右衛門が、現在の飯塚市にあった邸宅の一部を移築して造った社交場「炭坑クラブ」を復元した建物。現在は、修験の精神文化や炭鉱時代の歴史展示などを中心とした交流の場となっている。

小石原千灯明・灯りと神楽舞
小石原の高木神社で毎年開催される祭りで、竹灯篭と巨大なぼんぼりと、和紙灯篭の灯りがともり、神社では小石原夜神が舞われる。(9 月第 1 土曜日)

次郎坊太郎坊摩崖仏群
間口 1.2m、奥行き 0.3m の小さな穴の中に彫られた 3 体の仏様。鎌倉時代末期、父の仇を討とうとして返り討ちに遭った山伏刀鍛冶の兄弟、太郎・次郎の供養に子孫が彫ったと伝えられている。

ふれあい広場つづみの里
旧小石原村時代の昭和 57 年に完成した交流施設で、平成 28 年 9 月にリニューアルオープンオープンした。村の特産品を販売する施設。

ほたる祭
5 月下旬から 6 月中旬にかけてゲンジボタルの乱舞を観ることができる。東峰村は、大肥川、宝珠山川、小石原川の源流の村である。

天空の窯郷ビアフェスト
小石原焼ビアカップでクラフトビールを楽しむビアフェスト。2020 年 8 月小石原焼伝統産業会館で開催。

唐臼/小石原焼登り窯
唐臼は、川の水を利用して大木の杵を動かし、陶土を突く手法。登り窯は小石原焼の一部の窯元で現在も使われている。薪で焼き上げることで、器に独特な表情が生まれる。

岩屋公園/岩屋キャンプ場
岩屋公園は、耶馬日田英彦山国定公園内にあって、天然記念物の奇岩群と窟群、大公孫樹や玄海ツツジなど貴重な植物が自生している。岩屋キャンプ場は岩屋公園の奇岩群・岩屋神社、竹地区の棚田、棚田親水公園にも近いキャンプ場である。

小石原焼伝統産業会館
平成 10 年にオープンした小石原焼の博物館。約 350 年の歴史を持つ小石原焼について、古窯跡の出土品や現存する古陶をはじめ、小石原焼の代表作を見ることができる。また、平成 20 年に完成した登り窯の見学や体験棟で気軽に陶芸体験ができる。

東峰村秋まつり
11 月の第 1 日曜日に開催している収穫祭。筑前あさくら産の黒毛和牛 1 頭分の格安販売や、農産物の直売、郷土芸能のステージイベントなど、魅力満載。

道の駅小石原
小石原ならではの登り窯をイメージした建物の中には、小石原焼・高取焼の窯元の作品が一堂に展示販売されている「陶の里館」や農産物直売所、レストラン「こだち」がある。ドライブの立ち寄りスポットとして便利。

おほし様まつり/福井神社
今年とれた新ワラで作った「おほし様」と呼ばれるワラ御典を担ぎ、福井神社へ向かう。途中、振り返ったり 3 回以上休むことは許されない。(10 月最終の日曜日)

鬼火焚き
新しい年を祝う正月行事で、組み上げた竹を燃やして 1 年間の無病息災を祈願する。(1 月)

東峰村